

美 265 学

ウィムザットとピアズリーにおける〈意図〉の概念	河合 大介	1
木幡順三の美意識論——生き方としての美学——	柳澤 広美	13
雑誌『美術新報』が特集を組んだ作家たち ——その人選にあらわれる同誌の美術観——	日比野未夢	25
クレメント・グリーンバーグにおける美的判断の構造 ——カント『判断力批判』第九節を手がかりとして——	大澤 慶久	37
不在と現前のジレンマ ——マイケル・フリードのマネ、あるいはモダニズム——	折居 耕拓	49
サンティアゴ・シエラの実務的労働と拷問的戯れ ——「報酬の支払われた行為」におけるレイバーとワーカーの区別から——	藤本 流位	61
東京高等工業学校工業図案科における「図案」の概念 ——英国のデザイン教育との関係を中心に——	竹内 有子	73
第七十五回美学会全国大会報告		
大会報告		85
発表要旨（一覧は 145-148 頁を参照）		95
新刊紹介		
金田 晋 著『環境を美学する』	桑島 秀樹	125
例会・研究発表会発表要旨		131
学会消息・編集後記		141
欧文要旨		152